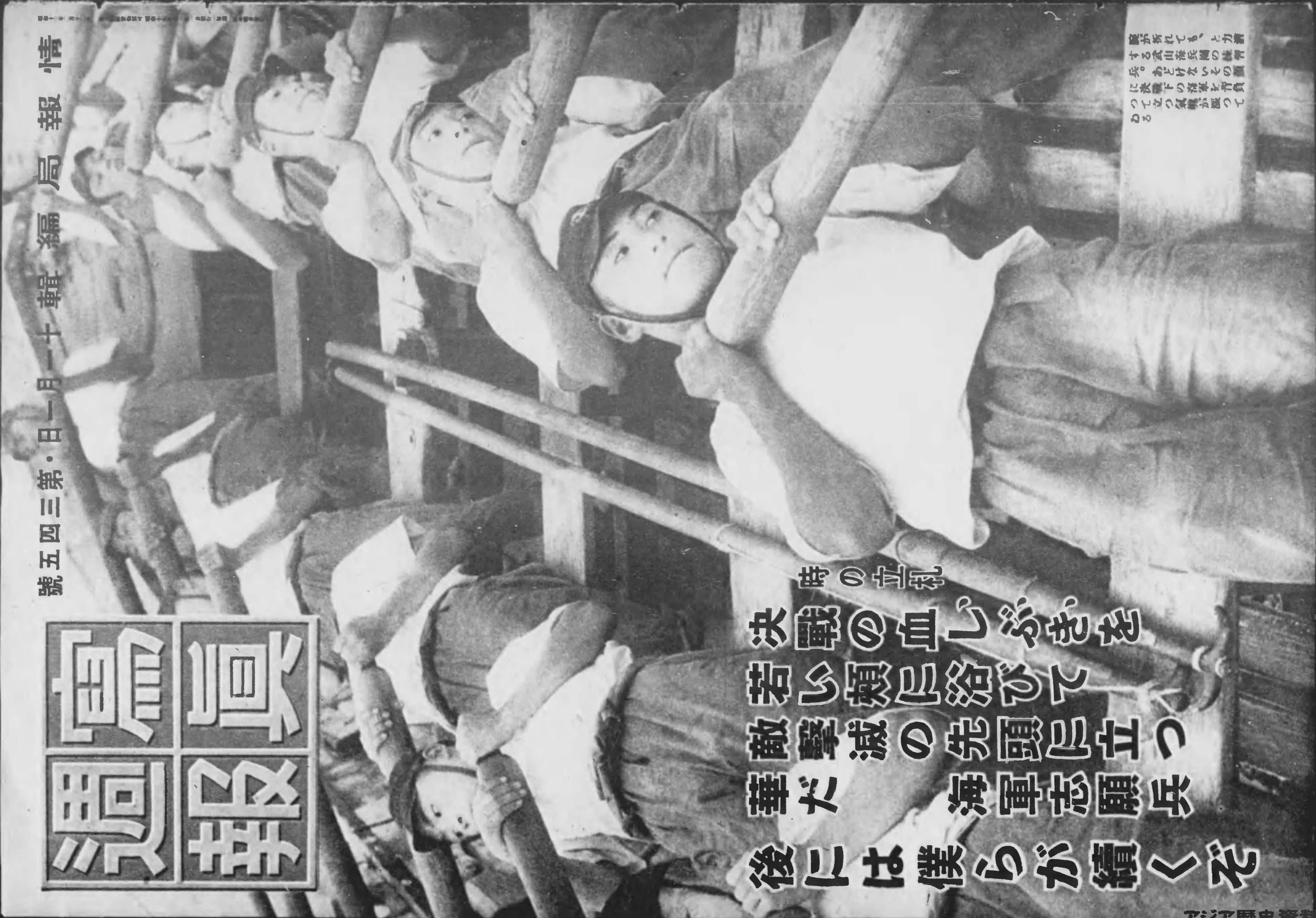


0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 2

號五四三第・日一月一十輯編局報情

週報寫眞



腹が折れても、と力清
する武山海兵團の練習
兵。あどけないその顔
に決戦下の海軍と背負
つて立つ気概が透つて
ゐる

時の立札
決戦の血しづきを
若し頬に浴びて
敵撃滅の先頭に立つ
華だ 海軍志願兵
後には僕らが續くぞ



高橋英吉を撃つには手は遅い

重轟撃隊は轟で叩き、出撃準備中
て飛行機一杯に羽撃く海軍航空隊員
撮影 鈴木清次郎



一値が「今にみる」と唇を噛みながら、その時を待つてゐた太平洋決戦の火蓋は遂に切つて落された。思へば長い歴史の日だつた。ガダルカナルの轉進以來、二年餘、太平洋の戦勢は我に利あらず、アッツ、マキン、クラヴ、サイパン、アニヤン、大宮と、われ／＼は幾度か似かひの涙を呑み、天を仰いで哭いた。重苦しい日々であつた。前線將兵は目に餘る敵の蹂躙に地固太を踏みながら機動の運命を歎じ、戦後の生産陣また自ら造り出す新設備の出動が威力を發揮する日の到らないの焦燥を感じてゐた。今に見ろ、そして今その決戦の時を来たしたのである。

幸先よくも勇闘の一戦、臺灣沖航空戦では敵機動部隊を潰走せしめ、轟撃沈敵五十數隻といふ素晴らしい戦果を収めた。ハワイ真珠網を深く大戦果であり、戦史に例をみない輝かしいものであつた。

「やつたぞ、やつたぞ」相次ぐ大戦果の發表に、われ／＼は正に戦友相擁して泣くのが氣持であつた。「胸がすいた、涙を下げた」といつただけではいひ足りない。あの發表以來、街ゆく人々の顔にも、工場で旋盤と取組む人々の顔にも、また野良に立つ人々の顔にもいひ知れぬ感激と明るさが感じられるやうになつた。殊にわが陸軍の聲援が激減せしめ敵の機動部隊は、マニラ以來、恨み重なる敵の太平洋最精銳である第五十八機動部隊である。太平洋の防波堤となつて全員戦死された英雄、雄魂に、いさゝかでも聞い得たとするわれ／＼の感慨は筆舌に盡し得ない。

だが、この大戦果は何によつて来たのであらうか。もとより御機成の下、軍兵よく業を破る日本兵法の妙義が戦機に投じ、前線將兵の生死を超越した機成り攻撃によつて遺憾なく發揮されたものであることはいふまでもない。しかもなほ、いひ加へ得るならば、この目を期し故々我々、骨身を削つて戦後生産に

挺身した二億國民の血の努力、汗の結晶がこの大戦果を生んだのである。

臺灣沖航空戦の綜合戦果が發表されたとき、栗原海軍報道部長も、その談話の中で「...一方、現代戦の性格がいかなるものであるかに思ひ及ぶとき、この戦果は戦後における生産戦の戦果であり、輸送戦の戦果であり、否、全國民の勤勞戦の戦果であり、生活戦の戦果である...」

と、この明らかな事實をばつきり裏付されてゐる。われらも懐かこの戦果に置る片鱗を察ふことができたのだ。何といふ誇りかな目覚めたらう。また「造つて送りさすれば必ずやつてくれるぞ」と、この大戦果によつて、われらの必勝の信念は一層強化された「やればやれるぞ」と

しかし、決戦はまだ序の日に過ぎない。戦勢は大きく轉換されたのであるが、あの大打撃にも拘はらず、敵はその驕慢な銳鋒を決して鈍らせてはゐないのである。敵は臺灣沖航空戦の直後、十月十七日には、太平洋の主力部隊と目される極めて優秀な機動部隊をもつて輸送戦を伴ひ、比島中部のレイテ島に侵入し來り、二十日には同島のタクロバン附近に上陸を開始した。太平洋決戦の戦況は今や比島をめぐつて更に急迫を告げるに至つたのである。

比島奪還作戦はかつて敵主腦部がたび／＼公言したところであり、ルイスワエルトも、「ニミッツも、マクアーサーも、それにチャーチルまでが強調反復してゐる。ルイスワエルトはハワイ作戦合謀の巻に當り「アメリカの當面の戦争目的はフィリピンを奪還して、日本を無條件降伏せしめることにある」と記者團に語つた。またニミッツは「太平洋において勝利を収める何よりの先決條件は、日本に對する海上補給路を支配してしまふことにある。この海上支配が確立されたならば、反機動軍は日本に對する原料の流入を阻止し、他方、南方占領地に對する日本本土からの兵員、ならびに軍需品の供給をも遮断することができる」と語つて、日本と南方占領地帯との補給運路を遮断せんとする比島作戦の目的を明確にしてゐる。

新たな諸戦には、敵は大體敗を喫した。だが、これまで敵に有利に展開してきた戦勢を過信し、少しも戦意の衰へをみせず、豫定の如く比島作戦の幕を切つて落したのである。正に決戦はこれからである。しかもなほ、敵は對日包圍總攻撃を策せんとし、北東方面には敵北西太平洋艦隊司令官フレッチャーが、わが干島、北海方面への進攻作戦を企圖してをり、またインド洋方面には新たに東洋艦隊司令官に任ぜられた作戦の名將フレッチャーが、英國艦隊の主力を率ゐり、

既に運動を開始してゐる。

さらに支那大陸にはステルワエルの在支米地上機械化部隊あり、歐洲陸戦の青年將軍ラマーの率ゐる長距離専門の在支第二十航空部隊、シエンノート陸下の在支第十四航空部隊あつて、大陸の米軍の勢力を大いに振り難い。

かく考へると、練戦の大戦果にも拘はらず、帝國の四圍は決して樂觀を許さない状況にある。

殊に、敵は最近、各種の事情から非常に短期決戦を構つてゐる。歐州戦局が敵に豫想外に有利に展開して、今や太平洋攻勢に主力を注ぎ得る新段階に達してゐることも、その理由の一つであらう。また、これまでの戦局の好轉により、米英、殊に米國內に戦局樂觀氣分が熾進し、その結果、國民の戦争努力が弛緩せんとする傾向もあるもので、戦争指導者が國民の戦意を冷めないうちに、一時も早く戦争を終りたいと意圖してゐることも考へられる。殊に十二月七日、米國大統領の選挙をめぐつてルイスワエルトがその人氣取りの方策に、無二無三戦局を押し進めんとする野望も考慮される。

敵はその總力を振つて太平洋決戦に突入して來るであらう。いや現に突入しつゝある。われ／＼がこれを選へ撃つて、今後になすあらんとする道はさらに困難であり、さらに難に當むものであることを決意しなければならぬ。

同じく栗原報道部長は

「敵國は大東亞の堤防の一角比島に對しニミッツ艦隊を右腕とし、マクアーサーの軍隊を左腕として、のしかつて來た。今や右腕たる敵機動部隊には一大掃打を興へた。こんどは左腕が比島にのしかつて來てゐる。このとき、われ／＼はその左腕を根元からへし折らねばならぬ」といはれてゐる。

すでに生死を超えて、ひたすら護國滅敵の大義に生きんとする前線の陸海將兵に十分これをなさしめるものは何か、誰か。

殊にあの大戦果の陰には、まだ還らざる三百十二機の尊い犠牲があつた。わが國にとつては嘗てみない大きな犠牲である。われ／＼はいま、失つた機成を即座に送り届けるだけの精進ではまだく足りない。

南の空には、決戦の熱風が血潮と火炎を孕んで正に世紀の波瀾を捲き起さうとしてゐる。送れ飛行機を、造れば勝つ」の必勝生産魂に徹して、一億たい火の玉となつた追撃増産こそ、戦勢轉換の神機をさらに確實にして、輝かしい勝利の大道を拓く唯一の鍵である。

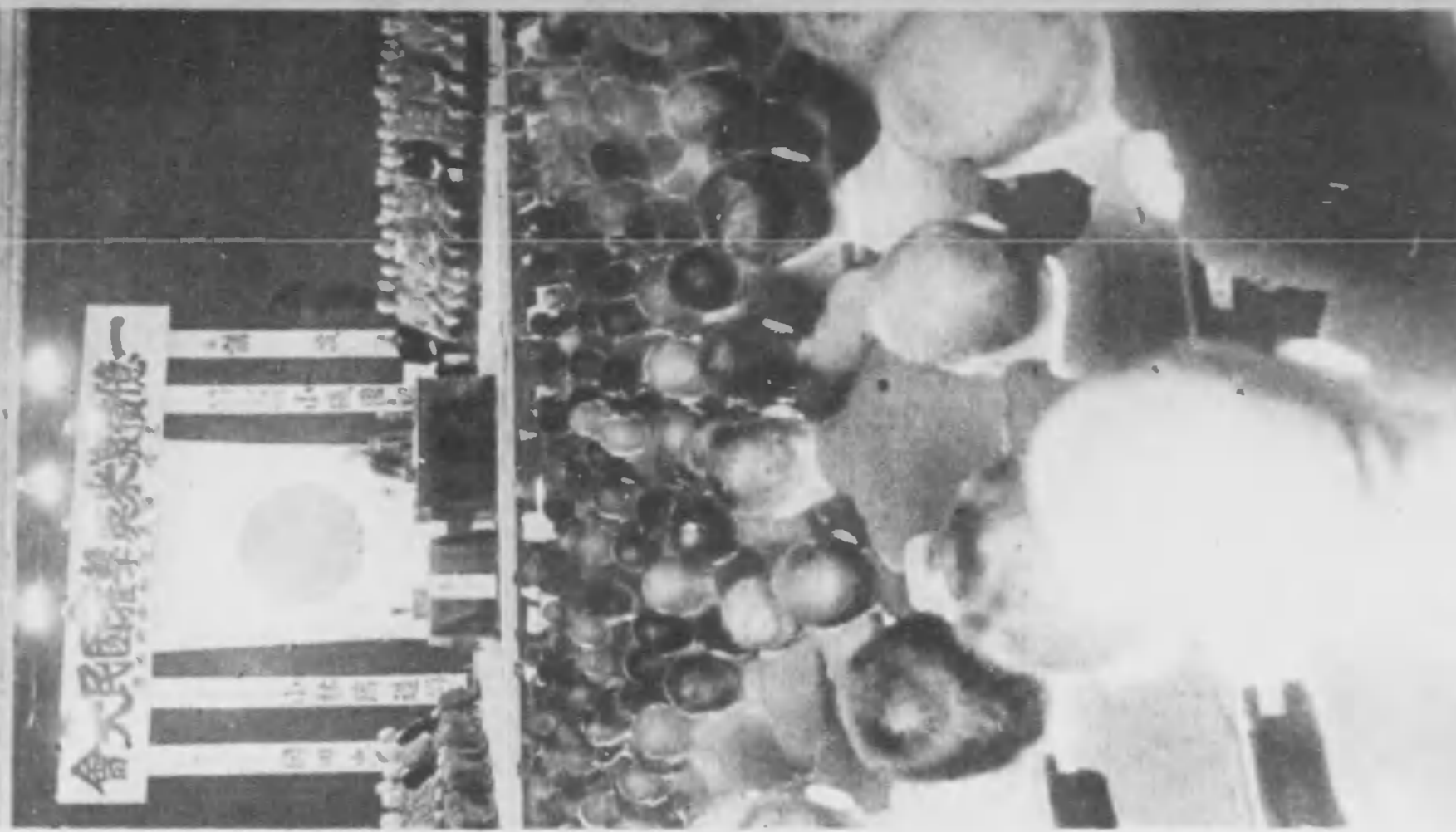
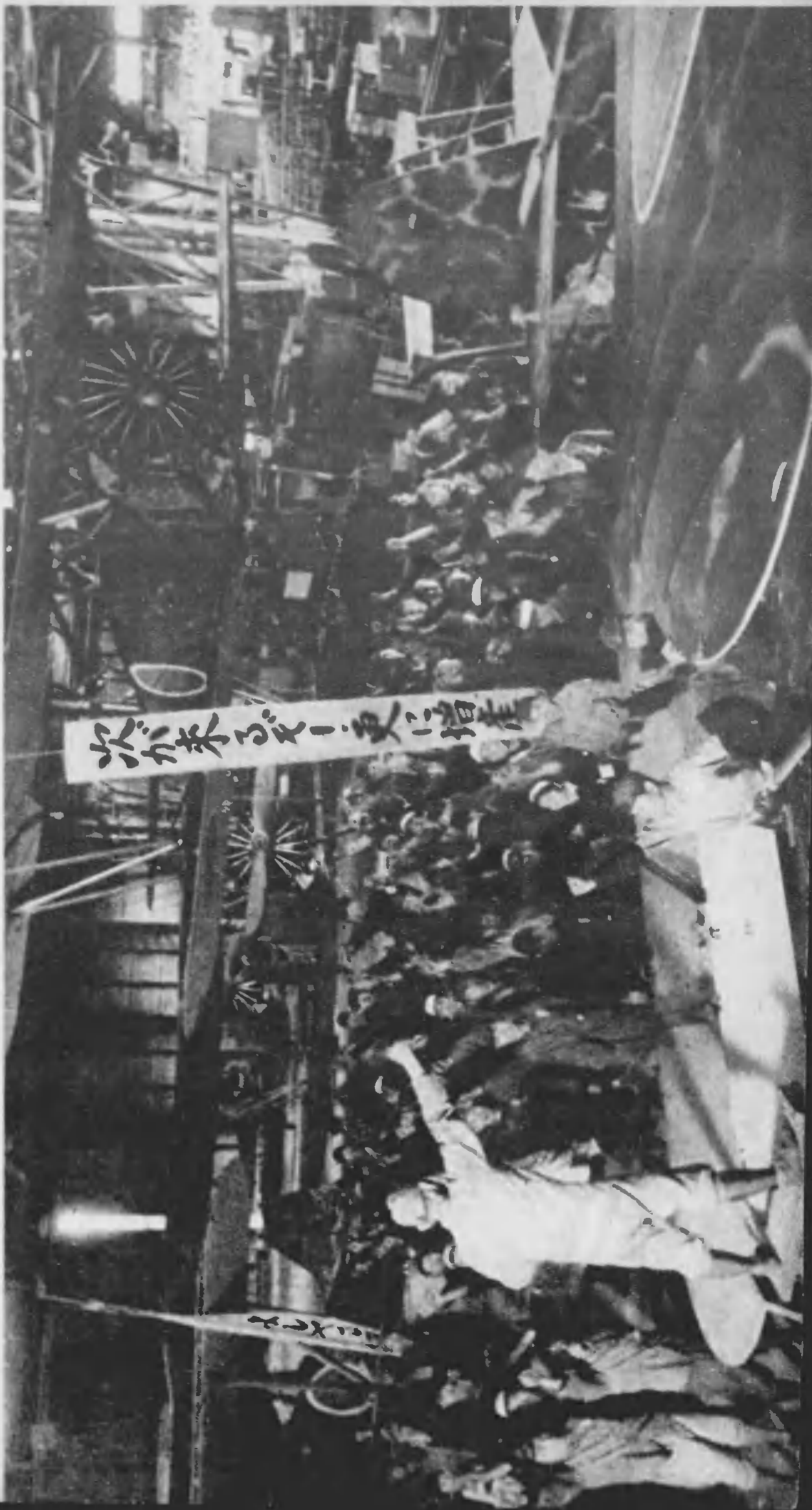
一億は増産を追撃く

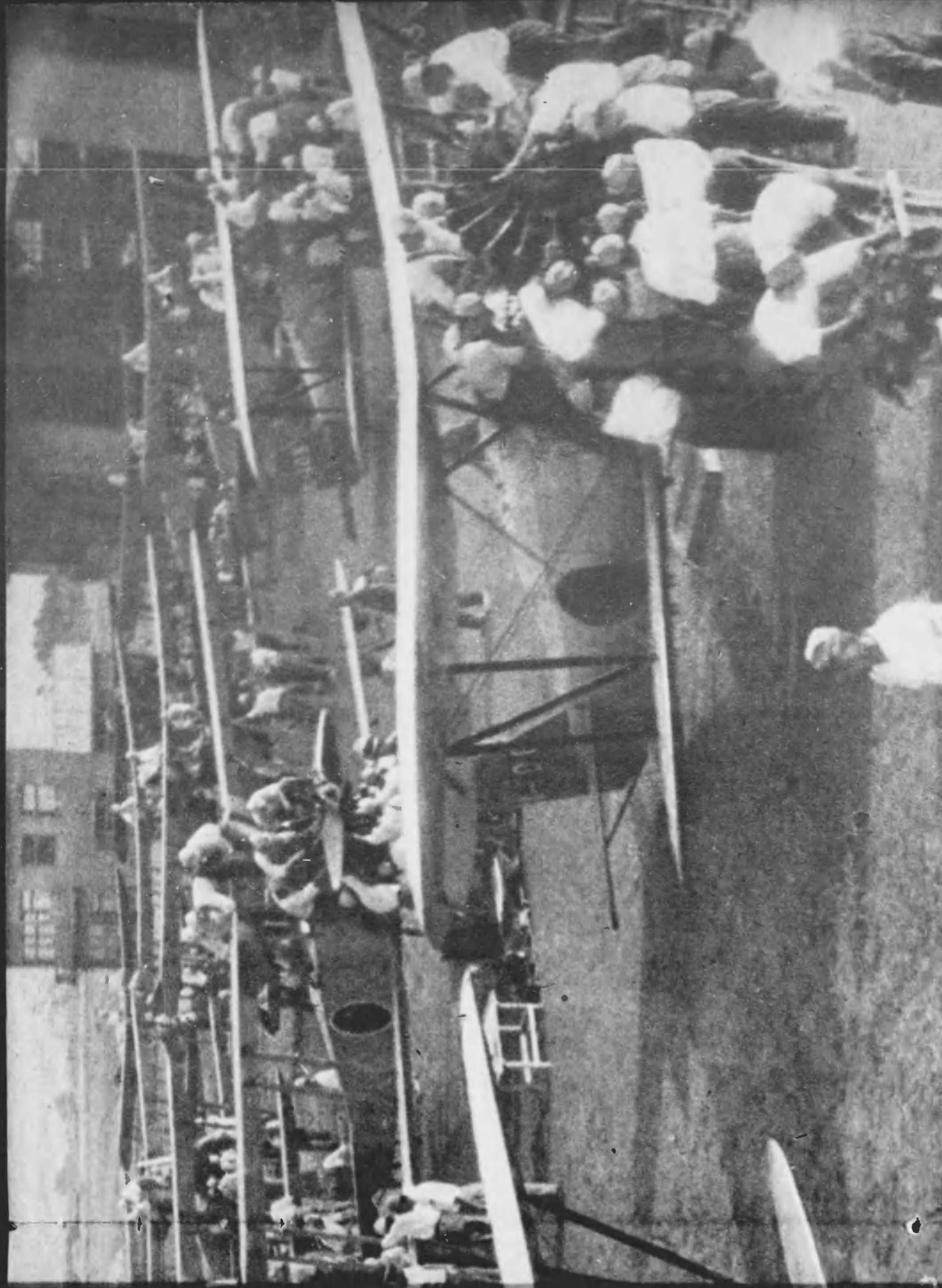
台湾沖の大戦果は決戦に前途の血祭りだ
小磯内閣総理大臣はさる十月二十日に
東京都日比谷公会堂に開かれた「一億憤激
美英雄飛國民大會」で
「歴史的増産への一億をひたむきに追まうては
ないか」

と呼びかけられたが、今こそこの戦勢
轉移の秋を掴まう、われらの造る飛行機
で兵器で、敵を追って追ひまくらうとあ
らゆる戦場もすかさず追撃増産に突入し

た
獅子吼する小磯総理大臣
日立航空機工場では、丸となつて躍起した
「頑張りで敵を叩き潰さう！」

総力は必ず敵つのだと、高鳴る魂を柱に
こめてつと打ちむ





兵願志軍海 ぞく銃毛ら僕

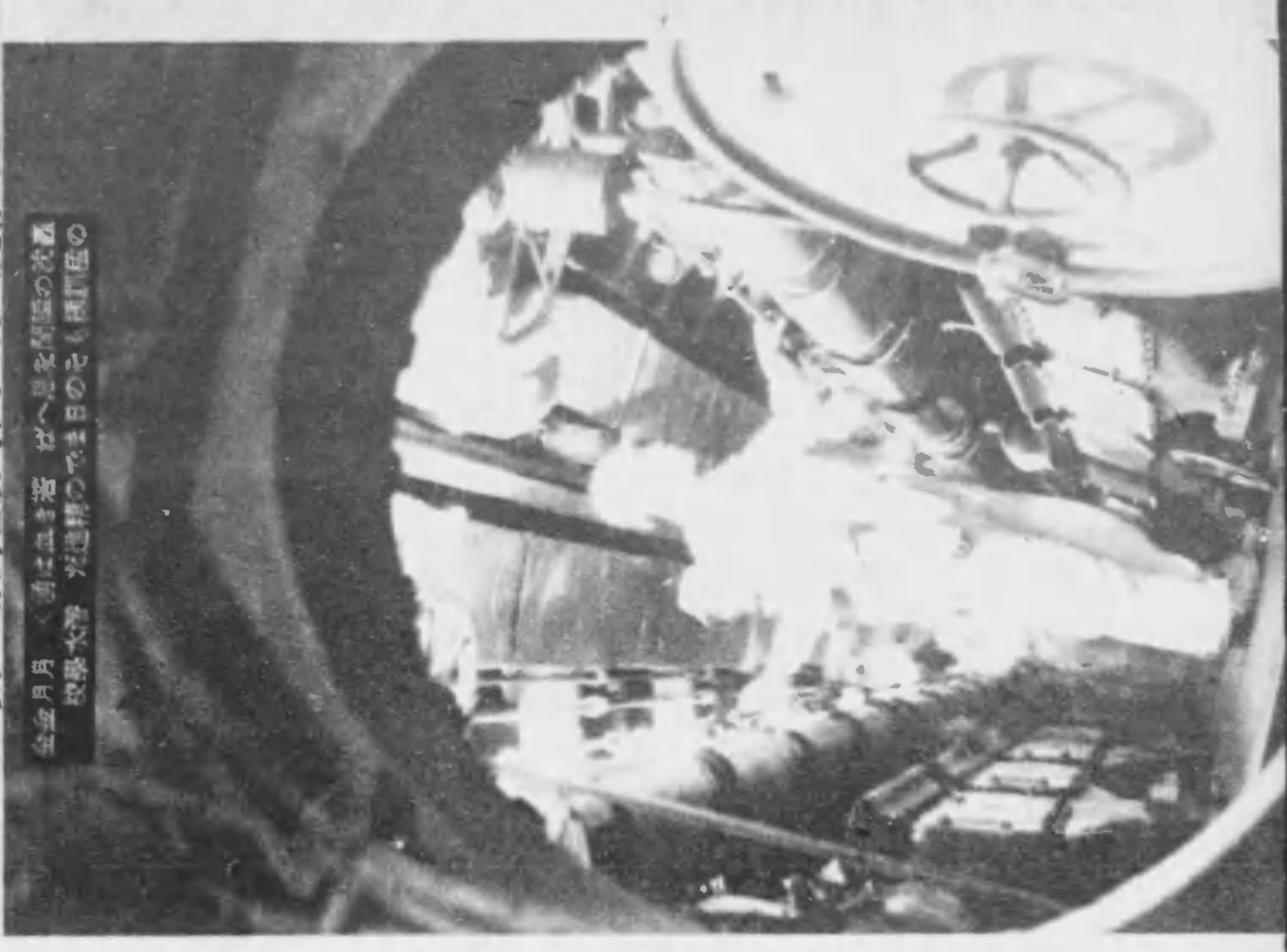


る入に銃軍の面方るす望暮れそれそ、とるへおを育機機基兵新の月三約で開兵運はのもたれさ用採に兵水の汽噴てしと兵艦は軍艦

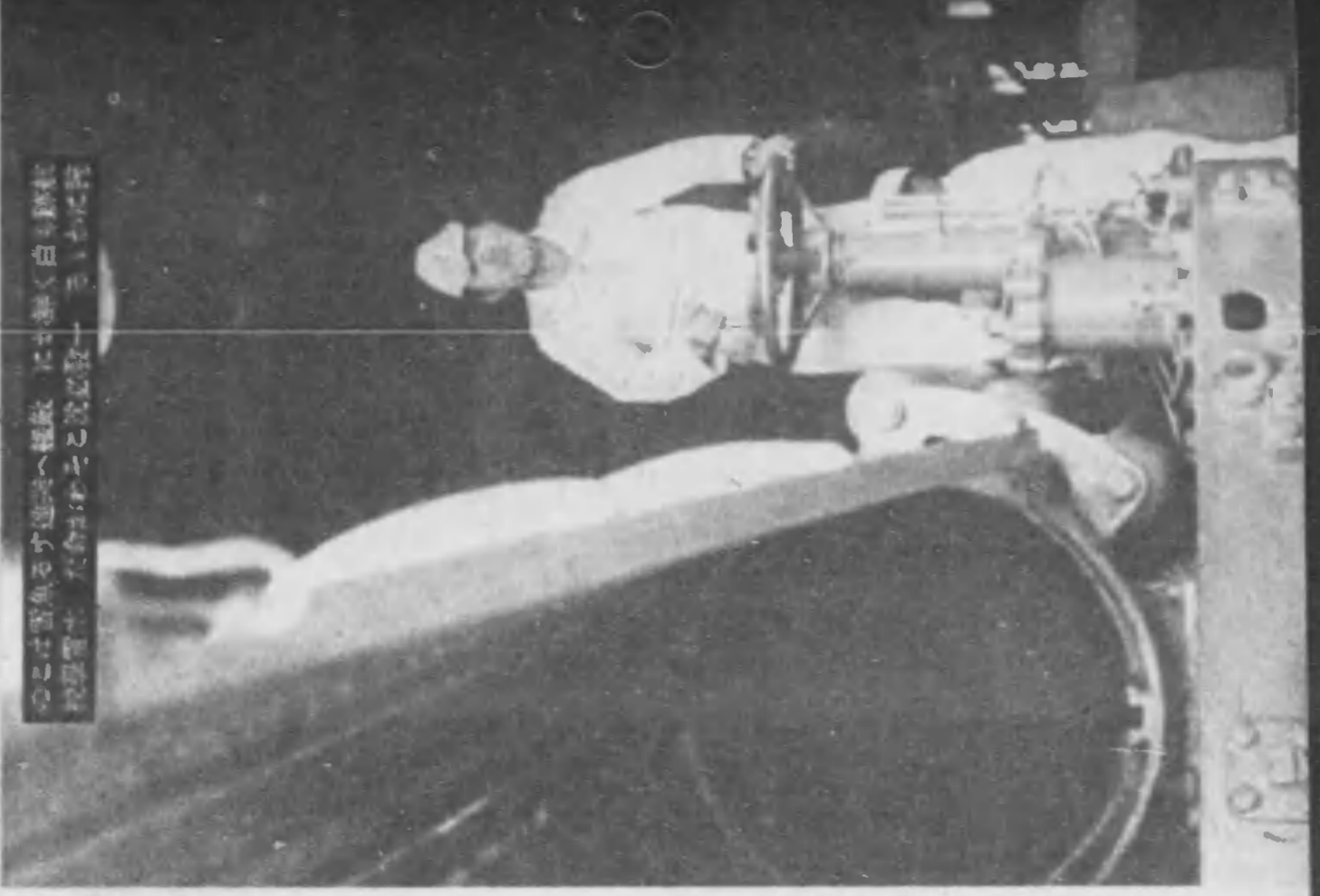
兵艦に最は兵艦の機銃の射撃の様子
 1914年 1月 2日

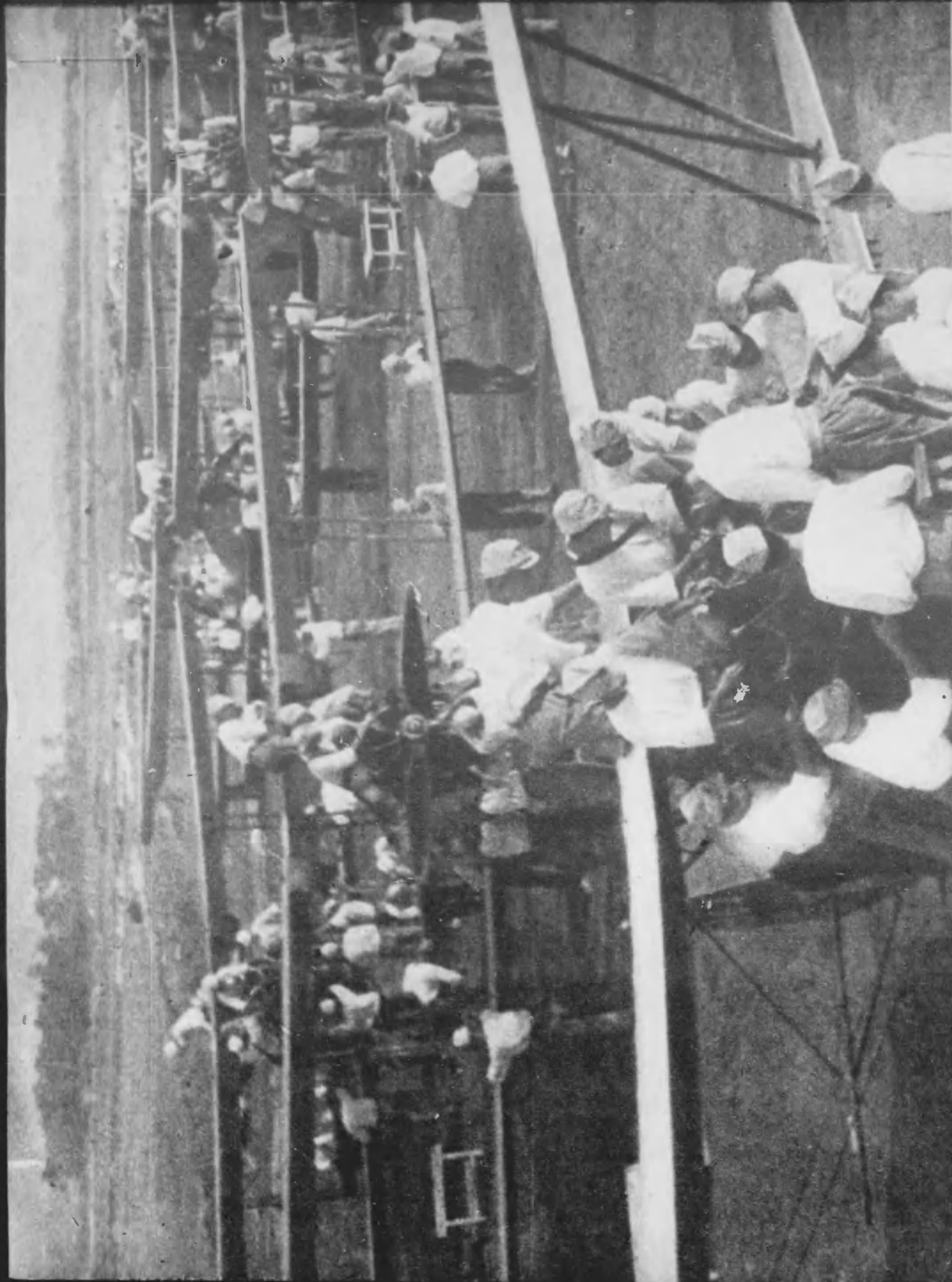


金魚月 月 通は蒸き密 ばへ思を開張の空
 攻撃大砲 汽送機のもま日のとく機艦の



この兵艦の汽機を運送へ機銃 にも多く白も機艦
 汽送機 だ合はれこれ汽送機 ともはた機





兵窟



全国青少年に望む

海を制するものは世界を制す」とは昔からよくいわれる言葉であるが、われわれ今日はこの言葉をもつ意味を正確に感ずる時はない。常に海洋の雄略こそ、開運諸島の基礎である。大東亞戦争は今や太平洋に集中されてゐるが、太平洋の制覇なくして大東亞戦争の利はない。制海権を獲得するには強力な海上

兵力を必要とするはいふまでもないが、この海上兵力とは海洋航空、水上、水中の一切の兵器、飛行機などの器材と、これを操作する人員である。且つまた海軍の進歩發達した艦船、兵器、飛行機等を自由自在に操作し、その威力を最大に發揮せしめるのは船員人であつて、その人は年少にして且つ氣力、體力、智力ともに優れた人でなければならない。軍艦や駆逐艦や潜水艦に乗り込んで、精巧な

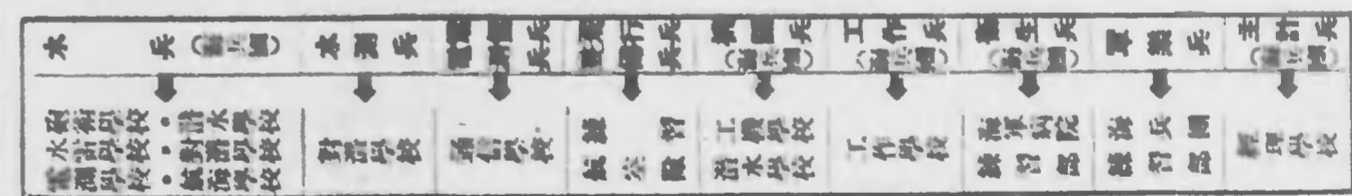
に達し、また航空機に搭乗して洋上遠く敵を襲ひ、これを掃蕩殲滅し得るものは誰か、海軍の中隊兵力たる海軍志願兵こそ、これをなすべき得るであらう。若き愛國の熱血に燃ゆる青少年諸君に期待する所以である。今や敵米はその龐大な物量を持ち、わが國防線の突破を試み、最近ではその艦牙をフイロピン、夜間には、長大なる打撃をうけつゝも、なほ反攻の力を絶えず奮闘しようとする。防敵陣線の維持を切々と近づきつゝある

海軍志願兵

諸君 兵種によつて異なるが、採用の年、即ち昭和二十年十二月二日現在で計算して次ぎの如くである

兵種	年齢	出生年月日	備考
水兵 乗組兵 機関兵 工作兵 衛生兵 主計兵	十四年八月一日以上	自昭和十三年十一月	出生の者
少年水測兵 少年電信兵 少年飛行兵	十四年八月一日以上	自昭和十四年四月	出生の者
軍樂兵	十六年未以	自昭和十四年十二月	出生の者

志願日は最寄の市役所または町村役場の兵事係に問合せ、志願用紙を貰ふこと



空に蒼鷹と唳かん
七つ如に揺れる若人の
胸には必ずやこの烈々
たる國魂が燃められて
あるに違ひない。海軍
はもこの國魂を生かす
道は拓かれ、これまで
難事を果ばせるなか
に、陸で勞苦を積んで來た
海軍員が、飛行兵と兵
に空の決戦へ参加して
あるのだ。こゝに海軍
空軍にあつて、機關
發動機、兵器の整備に
出にまかれた諸君は
夢に驚くのもまた空
をくわしいその日矣

〇
諸君は一つも早く
志願せよ。訓練は貴國の
やうなといふ訓練の機
がこゝにある

訓練に遅く訓練を教村
とするだけで、若し訓
は感で一杯だ 〇



海より来る敵は海の方
に撃つべきである
愛國の熱情に燃ゆる青少年は
この際、奮つて帝國海軍に身
を投じ、光輝ある軍艦の下
に海の誇りに飲かれんことを
希望してやまない
海軍省人參謀長
海軍中佐 清水 秀政



乙女たちがやる鉄路

信濃越後線 戸倉



⇨ 運來の乗降場に関する合圖。重要輸送の急行貨車が乙女の姿を通過する

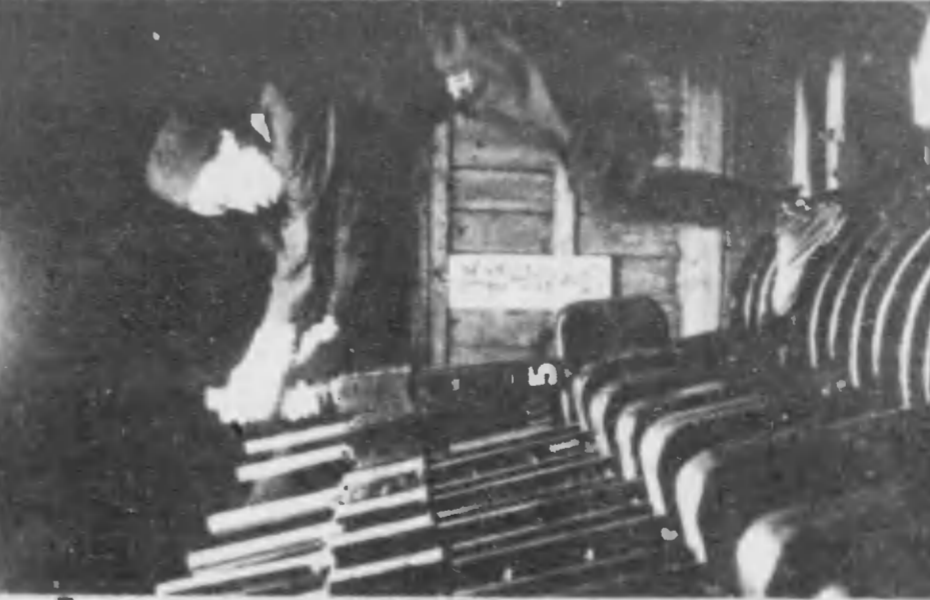
決戦はまだ序の目だ。そして清軍ではもう飛行機は十分だ。兵器は神山大と決していつてゐない。もつと送り、もつと送らう。それにはみんな働くことだ。男も女——いや男は第一線にゆく。女も女も女だ……

そしてこの國鐵信越線員舎には、男は榎井部長と助役さん二人だけといふ女ばかりの静だ。召されて征つた男子隊員のおとを引受けて、まだうち若い二十七名の女性が無事から信濃線の取扱、貨車の入換、荷物の運搬まで、現在ますます大變になつた決戦輸送をがっちり擔つて、男子に負けない戦國を續けてゐる

訓練に苦悶しても嬉しく、さづ——とかは子隊員の教習も美しい。働け、働け、決戦に勝つてあげよ、女ばかりの静を堅く守り通してゐる彼女たちの姿こそ、明日の大戦果をしつかり約束してゐる

⇩ 朝朝高らかに静の歌を流れ出る隊舎は「召されて征つた兄さんの心をそのまゝ受けついで……」と國鐵勤勞女性の歌

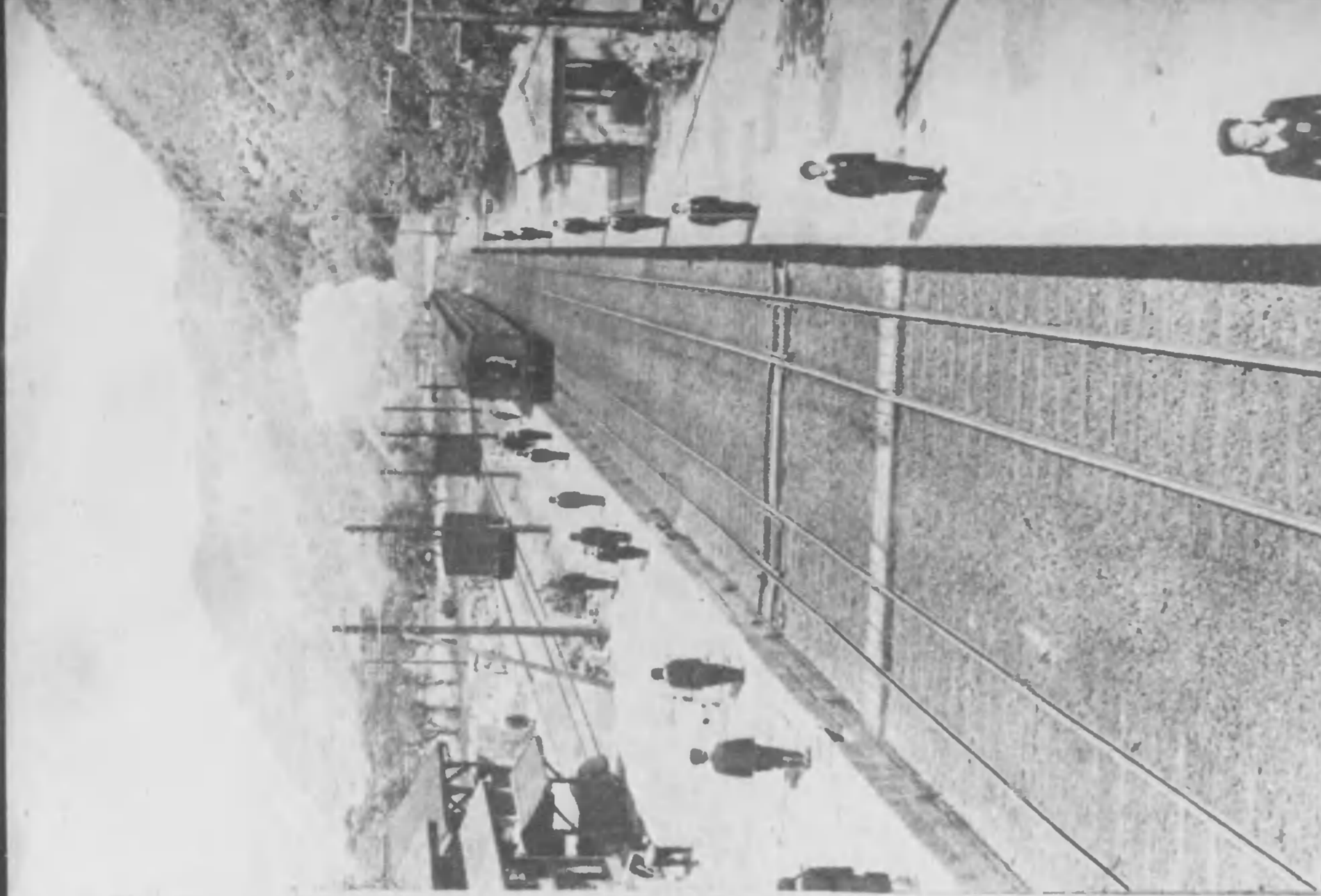
⇨ もう運來だ。機関車のリレーは停なくしかも飛んだが乙女は……



⇨ 男子に劣らぬ正しい態度で業務動作は練成され、確かな呼吸もはつかりと



⇨ 女性のたしなみを活かした花が職場を美しく飾つてゐる



⇨ 列車の通過も、いまは安全と女子隊員にお任せだ。しかも規則正しく業務を

⇨ 若い乙女の精神は、みんな笑顔で維持し、仕事もどんく持てる

⇨ 手押車も網々敷つて、中には三十キロに達する荷物も積む乙女がゐる



